

平成26年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 数学 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		数と式	2年	A(1)ア 整式の加法, 減法	簡単な整式の加法, 減法の計算ができること。			○		○	
②		(2)		数と式	2年	A(1)ア 多項式と数の除法	多項式と数の除法の計算ができること。			○		○	
③		(3)		数と式	2年	A(1)ア 整式の乗法, 除法	単項式どうしの乗法・除法の計算ができること。			○		○	
④		(4)		数と式	2年	A(1)ア 整式の四則計算	簡単な整式の四則計算ができること。			○		○	
⑤	2	(1)		関数	1年	C(1)ア 関数関係の意味	関数の意味を理解していること。				○	○	
⑥		(2)		図形	1年	B(1)ア 基本的な作図	2点から最短距離にある点Pの作図方法を理解していること。				○	○	
⑦		(3)		図形	1年	B(2)ア 空間における直線の位置関係	空間における直線の位置関係を理解していること。				○	○	
⑧		(4)		図形	1年	B(1)イ 図形の移動	図形の移動を理解していること。				○	○	
⑨	3	(1)		図形	1年	B(2)ウ 円錐と円柱の体積	円錐と円柱の体積の関係を理解していること。				○	○	
⑩		(2)		図形	1年	B(2)ウ 円柱, 円錐, 球の体積	問題の中の数量から, 円柱, 円錐及び球の体積の関係を考えることができること。		○				○
⑪	4	(1)		数と式	2年	A(2)ウ 連立二元一次方程式の利用	問題の中の数量やその関係から, 課題解決のために, 文字を用いた式や数で表すことができること。			○		○	
⑫		(2)		数と式	2年	A(2)ウ 連立二元一次方程式の利用	式の値の表している数量を考えることができること。		○				○
⑬	5	(1)		関数	1年	C(1)ウ 座標の意味	座標の意味を理解していること。				○	○	
⑭		(2)		関数	2年	C(1)エ 一次関数の利用	事象を一次関数とみなし, 課題解決のために, 必要な数量を見いだそうとしていること。	○					○
⑮	6	(1)		資料の活用	1年	D(1)ア 度数分布表	度数分布表から度数や相対度数を求めることができること。			○		○	
⑯		(2)		資料の活用	1年	D(1)イ 代表値	相対度数の意味を説明することができること。		○				○
⑰		(3)		資料の活用	1年	D(1)イ 代表値	相対度数を度数折れ線(度数分布多角形)に表し, 資料の傾向や特徴を読み取り, 判断したり, 正しい説明を考えたりすることができること。		○				○
⑱	7	(1)		数と式	2年	A(1)イ 文字を用いた式の利用	考察の対象を明確にとらえ, 数量の関係を調べようとしていること。	○					○
⑲		(2)		数と式	2年	A(1)イ 文字を用いた式の利用	説明にあうように変形した式について, その意味を表すことができること。		○				○
⑳		(3)		数と式	2年	A(1)イ 文字を用いた式の利用	文字を用いた式で数量関係を表し, 説明することができること。		○				○

※ 網掛けの問題は, 平成25年度調査において課題がみられた内容の改善状況を見る問題として出題しています。